

静岡県ヤングケアラー実態調査結果

【別冊】 「自由記述」

令和4年3月

静岡県健康福祉部

[実態調査においてお世話している人はいると回答したこどもの自由意見]

回答者	ヤングケアラーに必要なだと思う支援、要望
小学5年 男性	病院や老人ホームなどにあずける。
小学5年 男性	代わりにケアする人を募集する。
小学5年 男性	ケアされている人が入れる施設を作る。
小学5年 男性	お金を寄付する。
小学5年 男性	言いたくても言い出せない人の為にインターネット上のメールで相談ができるようなサイトをなければ作る。
小学5年 男性	お世話をする人を増やす。
小学5年 男性	スクールカウンセラー。
小学5年 男性	専門の人がケアする。
小学5年 男性	ケアマネ、デイサービス、介護士。
小学5年 男性	老人に対してもっと支援してほしい。(財政面)。
小学5年 男性	教育アプリを増やす取り組みを増やすのはどうでしょうか。
小学5年 男性	手伝いは大事。
小学5年 女性	募金や介護する人を増やすために広告を出す。
小学5年 女性	ボランティアに介護を頼む。
小学5年 女性	ボランティアを募集する。
小学5年 女性	カウンセラーと児童と話す。
小学5年 女性	募金。
小学5年 女性	介護施設の人を増やす。
小学5年 女性	お金をあげる。
小学5年 女性	小さい子や障害者にサポーターをつけていった方が安心する。
小学5年 女性	小さい子や障害者が雨の日でも気軽に行けるバリアフリー施設を増やす。
小学5年 女性	障害者を保護する。
小学5年 女性	無料サポート。
小学5年 不明	募金。
小学6年 男性	障害者の為の支援施設を増やす。
小学6年 男性	募金。
小学6年 男性	この様なひとの為に寄付したり、助ける人がいたらいいなと思う。
小学6年 男性	募金をする。
小学6年 男性	介護施設を1カ月に数回無料にする。
小学6年 男性	募金する。
小学6年 男性	相談する場所を増やせばいいと思う。
小学6年 男性	障害や病気を持っているだけで差別されているので皆が楽しめる広場や交流を増やして欲しい。
小学6年 男性	ボランティア。

小学6年 男性	子供の為の無料食堂。
小学6年 男性	障害者に便利な物を作って欲しい。
小学6年 男性	募金をしてヤングケアラーに配る。
小学6年 男性	お金を掛ける。
小学6年 女性	足腰の不自由な人の為にスロープを多く付けてほしい。
小学6年 女性	家の事を任せて自分の睡眠などが欲しいです。
小学6年 女性	こうゆうアンケートなどをやって手続きとかが大変ですが援助のボランティアなど受けてあげれば良いと思います。
小学6年 女性	障害のある人の学校などを増やす。
小学6年 女性	介護施設や生活保護を広げる。
小学6年 女性	学校で全員でスクールカウンセラーと話す。
小学6年 女性	ヘルパーの配置。
小学6年 女性	施設を多くして欲しい（お金のあまり掛からない）。
小学6年 女性	ちゃんと家に手伝い、介護をする人を呼ぶ。
小学6年 女性	家族皆で力を合わせて一気に家事をして行くようにする、沢山手伝いする。
小学6年 女性	募金や給付金など。
小学6年 女性	お金があまりない人がいるみたいだから募金になるべく協力するように発信する事が必要だと思う。
小学6年 女性	ボランティア。
小学6年 不明	税金で無料のヘルパー。
小学6年 不明	ヤングケアラーの家に先生をおくる。
小学6年 不明	その家に必要な人を送れば良いと思う。
中学1年 男性	全ての子供たちにお金を払い、少しでも楽しませてあげる。
中学1年 男性	金銭的余裕もなく、老人ホーム等の施設に入れられないので、その支援をして欲しい。
中学1年 男性	介護施設を増やす。家政婦を増やす。
中学1年 男性	ヤングケアラーの人を少しでもなくすために、かいごの人をつけたほうが良い生活ができると思う。
中学1年 男性	しせつをもっとふやす。
中学1年 男性	お金に余裕があるようにしていったらあげる。
中学1年 男性	最近グループホームなど障害者や高齢の方が暮らすところもあるのでお金はかかるけどヤングケアラーとしては楽になると思う。
中学1年 男性	障害の人を世話している人たちがストレスをためないために施設をもっと増やす。
中学1年 男性	幼稚園児からの放課後デイサービスの利用。
中学1年 男性	家政婦の数やお手伝いの人を増やすといいと思う。
中学1年 男性	学校へ行っている間、見守る人が必要。
中学1年 女性	もっと介護施設を増やした方が良い（三島市内に）。
中学1年 女性	スクールカウンセラーなどに頼って支援を広げていけるととても助かる。
中学1年 女性	気軽に相談できるスクールカウンセラーのようなものが学校にあるといいと思う。

中学1年 女性	ボランティア介護など、月に一度作る。
中学1年 女性	金銭的な支援などは、必要だとは思う。
中学1年 女性	癌、難病、精神疾患などの病気などの家族の看病をしていく。
中学1年 女性	気軽に相談できる環境づくり。
中学1年 女性	お金の余裕は募金をすれば改善されると思う。
中学1年 女性	大変だと感じている人へ精神、身体的なサポートをする場所を作る。
中学1年 女性	両親がいない子供たちに金銭的援助をする。
中学1年 女性	介護施設を少し増やしてほしいです。
中学1年 女性	国の方で金銭面のサポート、病気の人が過ごしやすくしてもらいたい。そうすれば人を雇ったりしてヤングケアラーはなくなると思う。病気の人が行きやすい社会になればヤングケアラーもなくなると思う。
中学1年 不明	ヘルパーさんをつけてほしい。
中学2年 男性	無料で看護をしてくれる人を必要とする。
中学2年 男性	介護をしている会社などを増やしていく。
中学2年 男性	訪問カウンセラーが必要である。（高校生の精神的なケア）。
中学2年 男性	岸田総理大臣にもっとデイサービスや障害者、お年寄りなどの人をケアする会社を作ってほしい。
中学2年 男性	金銭や介護士などを送って助けてもらう。
中学2年 男性	金が全て、金が一番。
中学2年 男性	介護施設の普及化、施設があっても担当の人達が困難だと判断すれば入れない、財政的支援。
中学2年 男性	かせいふ。
中学2年 男性	誰もが自由に過ごしていくために地域などで協力をしていくことが必要だと思う。
中学2年 女性	ヘルパーさんのような人がいてくれると、ありがたいです。
中学2年 女性	早く1人立ちをして家を出たいので、そういう人達への支援やきんせん面でのえんじょがあるといいなと思います。分からないこともあるので学校でそういうじゅぎょうをしてほしい。
中学2年 女性	お金。
中学2年 女性	本当に困っている方がいるならばカウンセラーの方に相談する機会を学校で取ってみると良いのではないのでしょうか。なかなか行きにくい子もいるかもしれません。
中学2年 女性	老人ホームへの移住の際に費用を行政が負担する。介護専門職の人に家に来てもらう。
中学2年 女性	金銭面だけでない支援を考えていくべきだと思う。
中学2年 女性	ヤングケアラーに当てはまる家に無料でシッターさんを送る。
中学2年 女性	先生など、相談できる環境を学校が作るというのが必要だと思う。
中学2年 女性	このようなアンケートを行い実態を確認すること。給付金。
中学2年 女性	若い人しかいない時安くする（シニアホーム費）。
中学2年 女性	相談できる人を増やすこと。
中学2年 女性	そんなに深刻に考えずに気軽なサポートがほしい。
中学2年 不明	学校や働いている間だけでも預けられる介護施設を作る。
中学3年 男性	行政や議会が具体的な条例を作るべきだと思う。

中学3年 男性	補助金。
中学3年 男性	介護施設に入れる条件をもっとゆるくして欲しい。
中学3年 男性	電話相談。
中学3年 男性	ケアしてくれる施設を増やすこと。
中学3年 男性	老人ホームなどへの募金。
中学3年 男性	毎日ケアされている人が欲しいもの（食べ物や道具）を一回無料で郵送してくれるシステム。
中学3年 男性	お金が無くて困っているときに、家族の誰かが入院をしたらお金がかかる。でも、ないので、そのための支援をした方がいいと思う。
中学3年 男性	把握できる所は把握してフォローできる体制をつくるべき。
中学3年 男性	税金をこういう人達のために使ってほしい。
中学3年 男性	ヤングケアラーをしている人へ支援金を送れば良いと思う。
中学3年 男性	ユニバーサルデザイン、バリアフリーの発展。
中学3年 女性	無料のお手伝いさん。
中学3年 女性	車いすでも行ける所を増やす。
中学3年 女性	身近に簡単に相談できるよう、スマホでのアプリ、サイトがあると、あまり直に話さなくても相談できると思います。
中学3年 女性	人に話すだけでも気が楽になる人は少しでもいると思うのでそういうのを話せる場を設けるといいと思う。
中学3年 女性	ヤングケアラーが、相談しやすいような環境をつくる。
中学3年 女性	老人の買い物などの支援をしてあげればケアもらくになると思う。
中学3年 女性	保育所や介護施設などに助成金（？）を渡せばいいんじゃないかなと思う。
中学3年 女性	保険や条例をつくる。サポートする職をつくる。
中学3年 女性	問題が多い人でも受け入れてくれるデイサービスや医療機関。
中学3年 女性	お金、禁酒法。
中学3年 女性	出張家庭教師が必要だと思う。
中学3年 女性	金銭的な支援。
中学3年 女性	子供が多い家族ではどうしても大きい上の子供がヤングケアラーになってしまうのは仕方がないように思います。もっと地域や市からの支援をしていくことが必要だと思う。
中学3年 不明	市区町村のサポート。気軽に悩みを相談できるようにして欲しい。
中学3年 不明	障がいのある人を介護する必要がある。
中学3年 不明	障がいをもつ人々をお世話する施設を増やした方がいいと思う。
中学3年 不明	法律。
高校1年 男性	打ち明けやすい環境作りが大切。
高校1年 男性	ヤングケアラー専用の学校を作り、時間や個人的な精神のケアが十分できる施設や環境。
高校1年 男性	募金活動など。
高校1年 男性	学校などの身近な人たちが面談などを定期的に行ってほしい。
高校1年 男性	施設の利用枠を優先的に配分する。

高校1年 男性	福祉的な支援または保障。
高校1年 男性	ヤングケアラーとしての欠席を免除することが必要だと思う。
高校1年 女性	補助金。
高校1年 女性	田舎のバスの時間を増やすこと。
高校1年 女性	共働き世代が増えてきているため、家事などをする子供がたえないと思うので、支援という形で年収が少ない人達が共働きしなくても生きていけるぐらいのお金は国から出してほしいです。
高校1年 女性	助け合い、お金の支援。
高校1年 女性	無料の介護、保護施設が必要。
高校1年 女性	やはり支援金が必要だと思います。
高校1年 女性	家族の負担を減らしてほしいので、介護の質が向上すればいいなと思います。
高校1年 女性	ヤングケアラーの人たち本人の思い（苦くて辛いのか、大丈夫なのか）を打ちあけられる環境や機会（チャンス）を増やすべきだと思います。
高校2年 男性	身体に障害がある人でも暮らしやすい生活にする。家事、入浴、トイレなど、ロボットが手伝うとか、やってあげる。
高校2年 男性	気軽にヤングケアラーの人たちが相談できる場があるということをもっと世に広める。
高校2年 男性	無償でのヘルパー支援などを取り入れていくべき。
高校2年 男性	無料で各家庭一台、車いす支給。
高校2年 男性	海外の方が増えているので、自治体での配布物や学校での配布物、また、国からの手紙等の言語を選択できるようにしてほしい。
高校2年 女性	所得別でなく子供の人数を考えて給付金を配る。
高校2年 女性	やりたい事が出来ない人や出来なくても別に苦ではない人とか、それぞれいると思うので、せめて金銭面で支援した方が良いのかもしれない。
高校2年 女性	シングルマザー家庭のサポートをもっと手厚くしてほしいです。
高校2年 女性	受験に必要なボランティア活動などの実績が作りにくいいため、その点に関して配慮してほしい。（ケアを実績として扱ってほしい）。
高校2年 女性	親への勉強支援や推奨、外国人のための進路説明会。
高校2年 女性	無料弁当、施設。
高校2年 不明	金。
高校2年 不明	支援金を増やした方がいいのでは。
高校2年 不明	生活保護を未成年でも受けれるようにする。
高校3年 男性	金。
高校3年 男性	所得関係なし一律金銭面の支援をしてほしい。
高校3年 男性	金銭的支援、施設の無償化。
高校3年 男性	ケアしている人同士で交流したりして「私だけじゃない」という意見を持たせることも大事なのかと思った。
高校3年 男性	保険の拡充。
高校3年 男性	介護認定を取りやすくしてほしい。
高校3年 男性	無料のケアサービス（特定の人に向けた）を用意すること。
高校3年 男性	自治体の実状を把握すること。

高校3年 男性	私設やヘルパー利用の自由度を上げた方がいい。
高校3年 男性	障害者支援に対する支援金をだす。
高校3年 男性	看護師の賃金の増加にほり、看護師の数を増やす。
高校3年 女性	調理の仕方や相談できる場所を作る。
高校3年 女性	金銭面での支援。
高校3年 女性	子ども食堂のテイクアウトの普及、献立一覧。
高校3年 女性	学校に行きたい学生や生徒のために登校時間や登校する日にちを選べる学校を作る。
高校3年 女性	国や県が送ってくる資料全てをその人に適応して言語のものにしてほしい。
高校3年 女性	相談する機会を多く設けること。
高校3年 女性	相談できるところ（金銭のことやサービスについて）。
高校3年 女性	お金の支援。
定時制4年男性	家政婦や何でも屋のような人をもう少し広げていくべきだと思う。
定時制4年女性	どうしても無理な時は、単位やテストがなんとかならないかなと思います。
定時制4年女性	生活が困難（生保等）な家庭へのケアをお願いしたい。

回答者	ヤングケアラーの普及啓発に向けて必要なこと
小学5年 男性	宣伝。
小学5年 男性	CMを作る。
小学5年 男性	みんなが意識する。
小学5年 女性	ヤングケアラーの具体的に行っていることやできることを詳しく広めてほしい。
小学5年 女性	たくさんポスターを張る。
小学5年 女性	ポスター。
小学5年 女性	ポスターを作り呼び掛ける。
小学6年 男性	ポスターを沢山貼る。
小学6年 男性	障害について理解を広めてほしい。
小学6年 男性	みんなに知ってもらうために、ポスター新聞などで広げていけばいいと思う。
小学6年 不明	宣伝する。
中学1年 男性	ヤングケアラーの人に実際にどんなきついことをしているのかを聞いて、そのきつさを広げる。
中学1年 男性	テレビなどでニュースする。
中学1年 男性	学校の家庭科の授業でヤングケアラーのことについて学び、家でもできるようにする。
中学1年 男性	世界の人に知ってもらう。
中学1年 男性	ヤングケアラー←もっと分かりやすい名前がいいと思う。
中学1年 男性	ヤングケアラーの興味を一人一人に持ってもらうことが大切だと思う。
中学1年 男性	SNSで拡散させる。
中学1年 男性	(自分は特に何も感じていないが)精神的に苦しい人を助けてほしい。
中学1年 男性	ヤングケアラーについて認知度を上げていく。
中学1年 男性	ヤングケアラーがいることを知ってもらうこと。
中学1年 男性	たくさん呼びかける。
中学1年 女性	関心を高めること。
中学1年 女性	呼びかけやCMなどで広めていく。
中学1年 女性	まずヤングケアラーとはなにかをしらない人もいると思うのでもっとヤングケアラーとはなにかをしってもらうためにポスターなどでよびかける。
中学1年 女性	高齢者が困っていることを理解してもらうために、ポスターや回覧板などで、呼びかけたほうが良いと思う。
中学1年 女性	CMを見たことがあるが、もっと多くの人に正確な情報を知ってもらうことが大切だと思う。
中学1年 女性	若い人がヤングケアラーの存在を知ること。
中学1年 女性	ヤングケアラーについての特別授業をしてもいいと思う。
中学1年 女性	ポスターを作って広める。
中学1年 女性	募金活動をする。ポスターを掲示する。
中学2年 男性	そういう人がいるという認識が増えるといいと思う。
中学2年 男性	より多くの人々に理解してもらう。

中学2年 男性	もっと授業の時間などでしっかりと教育を受けてみんながヤングケアラーのことを知ってもらえるようにする。
中学2年 男性	チラシやテレビ放送などで呼びかけ広げていく。
中学2年 男性	少しでも心の負担が軽くなるように学校ごとに理解を深める活動をすべき。
中学2年 男性	ヤングケアラーの苦しみや悲しさを広める。
中学2年 男性	理解が必要。
中学2年 男性	LGBTQのように、そういう人がいるという事を、みんなに知ってもらうのが大切。
中学2年 男性	ヤングケアラーを広めるためにポスターを作る。
中学2年 男性	協力の大切さをしっかり伝えるべきだと思う。
中学2年 女性	こう人がいるんだよと広げる。
中学2年 女性	知名度をあげ全国的に協力し、支援する環境を作ってほしい。
中学2年 女性	もっとヤングケアラーのことを知ってほしい。ヤングケアラーの授業をしてほしい。
中学2年 女性	指導などを定期的に行う。
中学2年 女性	アンケートやパンフレットを作る。
中学2年 女性	お手伝いとの違いを明確にしないと判断できない人がいると思う。だからもっと理解を深めるのが必要だと思う。
中学2年 女性	ネットで広めるべきだと思う。
中学3年 男性	たくさんの人に知ってもらうこと。
中学3年 男性	ヤングケアラーの人達の考えをのせた本なんかをすってみてはどうでしょうか。
中学3年 男性	ポスターを作る。言えない人のために電話でも言えるようにする。
中学3年 男性	チラシなどを作って、それを配ってどんどんこの活動を広げていく。
中学3年 男性	CMや広告を使ってもっと世間に知ってもらう。
中学3年 男性	ヤングケアラーについてみんなが知れるように知る機会を作ってほしい。
中学3年 男性	宣伝。
中学3年 男性	存在をアピールする。
中学3年 女性	ヤングケアラーについてより知ってもらうことが必要だと思う。
中学3年 女性	まず、ヤングケアラーの存在を世界中の人々に知ってもらう必要がある。
中学3年 女性	ヤングケアラー自体を広める。実際自分も知らなかった。
中学3年 女性	“ヤングケアラー”という言葉自体、あまり知られていない気がするのでまずは、ヤングケアラーがどういうものか知ってもらうことが必要だと思います。
中学3年 女性	ヤングケアラーについて小・中・高の学校で学ぶ機会をつくる。
中学3年 不明	アンケートをとった後、そのことを色んな世代に伝え、興味に関心を持ってもらうこと。
中学3年 不明	ヤングケアラーの理解。
高校1年 男性	アンケートによる実態調査。
高校1年 男性	CMなど人の目につくところで呼びかけをしたりすればいい。
高校1年 男性	精神疾患は表面上わかりにくいので、このようなアンケートを特に小学生やより若い人にやるべき。
高校1年 男性	もっとヤングケアラーがいることを知る必要があると思う。

高校1年 男性	ネットで広める。
高校1年 男性	もっと広める。
高校1年 男性	店や掲示板などの所でヤングケアラーの支援についてのポスターやチラシを掲示。
高校1年 女性	自分自身がヤングケアラーだと気づかないと、相談や解決にならないので、どのような人がヤングケアラーであるか理解を広めていくべきだと思う。
高校1年 女性	もっと身近に感じるために授業を通して触れ合ったりなどしてもっと交流を増やしていく。
高校1年 女性	ヤングケアラーの本を読んだことがあるが、自身はそれほどヤングケアラーという自覚はない。もっと学校内で知識を広めていくのが良いと思う。
高校1年 女性	理解を広めて行ってほしいです。
高校1年 女性	老人ホームなどの施設でケアを体験してみる。
高校1年 女性	少しでもいいから自分の時間が取れるように何か援助をしてほしい。、もっとやんぐけあーについて、新聞、テレビなどで取り上げるべきだと思う。
高校2年 男性	学校でのアンケートや相談会、信頼できる大人を作る。
高校2年 男性	アンケートやヤングケアラーについての説明が書かれた紙を配ること。
高校2年 女性	声掛け。
高校2年 女性	中学や高校の総合時間を使ってヤングケアラーについての講座を設ける事。
高校3年 男性	ボランティアなどの外部活動をもって公開して高校生などに情報がすぐいけるようにしてほしい。
高校3年 男性	CM等の広告を使うと良いと思う。
高校3年 女性	ポスターを作りが良いと思う。
高校3年 女性	ヤングケアラーの長所短所を多くの人にりかいしてもらおうこと。
高校3年 女性	体験談などを話す。
高校3年 女性	ヤングケアラーの定義がまだ少しあやふやなので、しっかりとした知識を広げる活動をしてほしいです。

回答者	話を聞いて欲しい、理解して欲しい
小学5年 男性	辛くて嫌な時も少しあるけど頑張る。
小学5年 男性	妹が障害を持っているので世話している。
小学5年 男性	弟の世話だからそんなにつかれない。
小学5年 男性	お世話をする事もあるしされる事もある。
小学5年 男性	日本語を外国語に訳したアンケートが欲しい、支援するのは人の為にも自分の為にもなる。
小学5年 女性	自分のやりたい事はできています。他に辛い思いをしている人達を是非助けてあげてください。
小学5年 女性	慣れていてきつさは感じないが少し疲れる時がある。
小学5年 女性	弟が一年生になって学校の友達と喧嘩をして相手がけがをしてしまったら私が責任をとることになるから大変。
小学5年 女性	妹の世話は疲れる。
小学5年 女性	学校で自由時間が欲しい（自分の好きな教室に行ってもいい、植物を育てていい等）。
小学5年 女性	お母さんの愚痴を聞いています。
小学5年 女性	障害の人をケアしているのではなく家の役割分担をしています。
小学5年 女性	習い事に遅れるので下校時刻を早くして欲しい。
小学5年 不明	主に親が外出している時や家事をしている時だけ。
小学5年 不明	家事を無理やりやらされる。
小学6年 男性	僕は病気の母のために色々やってあげている、父にアルコールやギャンブルをやめて欲しい。
小学6年 男性	祖母の金の使い過ぎを直したい、祖母が怖い、祖母の言葉遣いが悪い。
小学6年 男性	おじいちゃんの介護をしているおばあちゃんがかawaiiそう。
小学6年 男性	ケアは苦痛ではない、どちらかと言えば楽しい。
小学6年 女性	私は弟達の世話をしているので疲れるが楽しい、今はほぼ当たり前になっている。
小学6年 女性	大変だったら親と協力しておばあちゃんのお世話をしていきたい。
小学6年 女性	Q5について→多い時は水曜以外、今は一週間に2,3回位、1~2時間。
小学6年 女性	いところがぐずった時の対応を教えて欲しい。
小学6年 女性	親たちがちゃんとする。同じ学年の子でも、こんなにかawaiiようなことをうけているんだと思った。
小学6年 女性	私の兄はあまり手のかかる障害ではないので意外と簡単です。
小学6年 女性	私のようにお母さんの手伝い程度なら良いが子供だけでお世話するのは心も体も大変だと思うのでヤングケアラーが減ると良い。
小学6年 女性	赤ちゃんなのでそんなに大変ではない。
小学6年 女性	毎日死にたいや辛いなどとつぶやいて辛くなる、そういう人の為にどう改善すれば良くなるかを考えて欲しい。
小学6年 女性	Q2についてはいやいや遊ぶ時と喜んで遊ぶ事があります。
小学6年 女性	私はケアをしていると大変んなこともあるけどすごくかawaiiくて癒しになっているので皆にもそんな気持ちを持ってほしい。
小学6年 女性	祖父が主にケアをしてる。

小学6年 女性	同じ家に住んでいないけど少しだけお世話はします。正しいことが出来ないわけではないです。
小学6年 女性	うちは母子家庭で弟もいるので洗濯物を畳む位なら助けになれて逆に嬉しい。
小学6年 女性	お母さんも大変だから特にきつくはない！。
小学6年 女性	お世話は慣れてきたので苦にならない、時間のある限りでやっている。
小学6年 女性	私自身は弟の世話に辛さを感じていないが辛い思いをしている人には手伝いなどの協力が 必要。
小学6年 女性	祖父と前より話をするようになった、祖父の言っている事が聞き取れるようになった。話 をすることは大切なんだと思った。
中学1年 男性	大人が子供にすべてを任せるのではなく、自分ができることは自分がやり、どうしてもで きない場合は子供に任せるといった方が良くと思った。
中学1年 男性	皆が真剣に協力すればいいと思う。
中学1年 男性	きつくなるくらいお世話したい。
中学1年 男性	もし子供の中で自分の時間が削られてしまっている子がいるのなら、親はもう少し仕事を 頼む頻度などを考えてほしい。
中学1年 男性	色々な面でみてほしい（学校生活、私生活など）。
中学1年 男性	親は子供（兄や姉）に頼りすぎ。自分でできることを他人にやらせないで。
中学1年 女性	母子家庭のため家事などは負担することはしょうがないことだと考えていましたが、アン ケートにより、自分がそのことをどう思っていたかを自覚することができました。
中学1年 女性	ヤングケアラーは自分自身にとっても大切だと思いました。自分を見つめ直すうえでも重要 だと思いました。
中学1年 女性	自分が少しでも母の役に立てればと思っているので、特につらさはありません。
中学1年 女性	鬱の人でも通えるような静かで説明の分かりやすい病院が欲しい。
中学1年 女性	そこまできつくはないし、楽しいときもあります。
中学1年 女性	障害者に対しての差別、いじめをなくしてほしい。
中学1年 女性	母の手伝いなどをしていて、つらいなどは思わず、力になれるのでうれしく思います。世 話といっても、妹のことなので自分からそっせんしてやらせてもらってます。
中学1年 女性	子どものやってみたいことなどを聞く時間をつくるのが大切だと思います。あたらしいこ とをちょうせんするにたいしての協力せいを持つこと。
中学1年 女性	兄弟や姉妹に障害がなければかかなくて良いようにするのが良いと思います。
中学1年 女性	いつでも相談できるようにす協力する。
中学1年 女性	これからもこういうことやれば良いと思います。
中学1年 女性	楽しんで世話をすること。嫌ならやめたほうが良い。
中学1年 女性	私の父は障がい者1級で心臓の横らへんにきかいをうめこんでいるのですが、見た目だけ の障がいだけじゃないと知ってほしい。
中学1年 女性	兄弟姉妹のお世話をしている、毎日が楽しくすごすことが出来ている。
中学1年 女性	私はあまり大変とまではいかないのですが、大変な家庭などがあるとしたら、給付金を渡 すなどしたらいいと思います。
中学1年 女性	自分はやはり相手（みんな）に伝えていく。
中学1年 女性	子供の気持ちを考えれば大丈夫だと思う。
中学1年 女性	朝6時もしくは朝7時に安否確認ができるGPSもしくは受話器の設置をしてほしい。
中学1年 女性	父はいつも一緒にいるからきつくは感じない。今までの感謝の気持ちを伝えるためにやっ ている。

中学1年 女性	私の母は適応障害でパッと見分からず理解があまりないことだと思います。何か理解が広まる方法があればいいと思います。
中学1年 女性	大人の人たちは、ヤングケアラーのことをもう少し深く考えてほしい。
中学1年 女性	家族のためにやるのはいいことだけど、たまには休憩がほしいです。
中学1年 女性	親には話さないで！。
中学1年 女性	妹なので大丈夫です！学校もすごく楽しいです。
中学1年 不明	家事をやる時、時間が無くなっていくのが、精神的につらい。
中学2年 男性	障害のある弟の面倒を見ているが幸せだからキツイとはあまり思わない。
中学2年 男性	杖で机を叩くのはとてもうるさい。
中学2年 男性	お世話は毎日世話してもらっているから、いつも感謝の言葉をかけています。感謝の気持ちを忘れずに行動したいです。これからも頑張ります。
中学2年 女性	先生に話を聞いてほしい。
中学2年 女性	祖母が認知症、父が脳出血で入院中のため母に頼まれて行っています。
中学2年 女性	兄の事で母と相談する事がある。
中学2年 女性	家族の世話をしている子どもは意外とがまんしてるかもだから気づいてあげた方がいい。
中学2年 女性	自分がやるしかないので要望等特にありません。
中学2年 女性	障害者に怒鳴ると「可哀想！」という人がいるが、記憶が無かったり、泣かれたりでこちらも精神的に辛いのに、責められるのはおかしいと思う。毎年学校で障害者のいる家庭の大変さを伝える授業や体験をさせたらいいと思う。
中学2年 女性	きつさは感じない。逆に自分が生まれ持った能力を活かす機会があつて嬉しいし誇りを感じる。
中学2年 女性	設問6で入りきらなかったもの→家族と触れ合うと一人になった時冷や汗が出る。家族の声を聞くと一緒に耳鳴りが少しする。
中学2年 女性	母子家庭なのに年収がどうのって母子手当がもらえない。
中学2年 女性	自分の作業が中断されたり、お母さんのところに移動したりすることが結構あるし大変だけどやめたいとかは思わないです。
中学2年 女性	お金がほしい。小さい子供が安心して過ごせるようにしてほしい。
中学2年 不明	夫婦ケンカを止めたり防ぐ方法。
中学3年 男性	もっと自分の時間を確保するにはどうしたらいいのか。
中学3年 男性	母の体調が悪いときにやっていました、今はやっていません。
中学3年 女性	学費を安くしたり、ストレスを少なくしてほしい。→兄の医りょう費がかかるため。
中学3年 女性	みんなが障がいのある子達を知る事。障がい者だから、車イスにのってるから、普通の人と違うからと痛い目で見ないでほしい。家族が悲しむ。
中学3年 女性	友達にヤングケアラーがおり、時間、身体、精神的余裕が無いとともに、進路への口出しをしてきたり、お世話の見返りもなく、誕生日プレゼントが何が良いか聞くと、「休み」と答えた。さらに拒食症ぎみである。助けられるなら助けてあげてほしい。
中学3年 女性	人間不信で特定の人しか信用できず、大人は怖くて、相談できない人もいます。
中学3年 女性	母親が自分でもできるようなことを他人にわざわざ頼んでくる。子供にはこれらのこと（家事など）が大切だと親に言われることが多いが、本当にそうなのだろうか。
中学3年 女性	基本的に祖父が電話の音が聞こえなくて祖父の家に行かないといけない状態になっているため、よく聞こえる電話を、そして通訳を一家に一人ほしい。このままだと母が大変。
中学3年 女性	設問7 時々きついと感じる時がある。

高校1年 男性	両親は日本語、義弟は中国語が不得意なので、両方できるぼくがいつもたくさんさんの言語とかかかわる役割を担っていて、時に親の日本語力では解決できない時にぼくが同行することもあるので、かなり大変と思いますが、信頼できる人じゃないかぎりヤングケアラーは必要でないと思います。
高校1年 男性	親は確かに難病ではあるがそこまで大変ではない。他の人より少し不自由なくらいには治まっている。けどいつひどくなるか分からないし、いままで（難病になる前等）負担をかけてしまっているし、もう少し手助けをしていきたい。あと難病指定されているが障害者手帳を発効されない物があるのはどうかと思う。
高校1年 男性	母親がギャンブルをする。お金をたくさん使ってしまう。生活費なども帰ってくるのが遅い。
高校1年 男性	理解が足りない。
高校1年 女性	どのような対応をされるのか明確にされないと、言いづらいこともおと思う。
高校1年 女性	きついけど祖父がそれで楽ならば問題ない。
高校1年 女性	前まで行っていたことです。今はしせつに入れています。
高校1年 女性	兄が障害をもっているということを、素直に言えるように、そういう子たちへの変な悪い偏見は減らしてほしい。
高校2年 男性	特別辛くはないが、自分の進路が家計に左右されることに考える所がある。
高校2年 男性	部活などもあって休日は遊びなどになってしまうため勉強に充てられない。
高校2年 男性	自分には知的障害をもった2才下の弟がいるが、世話と言うほどのことをしていないし、普通に生活できています。障がいの程度にもよると思うが、一概に世話というものが大変だ、と言ってしまうのは個人的にはモヤモアします。（ヤングケアラーとは？）。
高校2年 男性	時間が欲しい。
高校2年 男性	母は父の分まで働いているので、いつも仕事で疲れているのでつらい。
高校2年 男性	もし父がこれいじょうあつかしないようにそういうケアをせんもんとする人たちをふやすべき。
高校2年 男性	自分の両親はなにかをしているわけではないのですが、仕事でものすごくいそがしくて、自分が家事などを行っています。
高校2年 男性	もう少し支援を充実して欲しい。
高校2年 男性	親の希望が強い進路を選択しているが、あまり納得していない（愚痴ですね）。
高校2年 女性	今は母が足のじん帯を損傷しているので少し大変なだけで、あとは問題ないです。
高校2年 女性	祖母を施設へ行かせたいけど、値段がたかいため行かせられない。お互いのためにも値段を安くして心のよゆうをつけることが必要。
高校2年 女性	本人が一番辛い思いをしてるって考えやめてほしい。
高校2年 女性	設問7の回答は、朝早く起こされることが多く、きつく感じることもある。
高校2年 女性	アルコールをやめてほしい。
高校2年 女性	大学とか進学したい時に、お金がなくて困る。もし、ローンが持てなかったら進学できなくて、就職できないのは不安。
高校2年 不明	相談をやすくしてほしいです。時間がどうしてもたりないことがあるからもう少し時間に余裕を持てるようにしたいです。
高校3年 男性	進路変更が辛かった。
高校3年 男性	母子・父子家庭にもっとお金を下さい。
高校3年 男性	学校疲れた。
高校3年 男性	欠席扱いとなり進級に影響する。学校の理解がない。
高校3年 男性	ヤングケアラーが必要なのは、お金や同情心ではないというのは分かりますが、本当に必要なものが何かは分かりません。きっと「時間」という答えが多いと思います。

高校3年 男性	基本介護は親がやってくれていますが、休みの日で親がいない時に、たまに祖父の介護をしています。
高校3年 女性	周りに信頼できる大人がいなくて誰にも相談できない。
高校3年 女性	自分はそんなに大変な事をしてるわけではないけど、もっと苦しい状況の人がいるよってことを、同じ年の人達に知ってもらう時間を作る。
高校3年 女性	嫌なのに気かけなければならないのが辛い。
高校3年 女性	金銭的支援をしてほしい。
高校3年 女性	施設を増やしてほしい（若い人への）。
高校3年 女性	一緒にいることがつらいが、自分がいなくなったらどうなるかわからないという不安。（父から祖父や祖母への暴力などの可能性）。
高校3年 女性	私は特に負担ではないが、他のヤングケアラーには、勉強時間や睡眠時間がとれない人もいると思うので、ヘルパーや介護施設などが風呂に入れたり、三食のお世話をしたりしてほしい。
高校3年 女性	どうしようもない。
高校3年 女性	家に要介護者いるという存在に時々精神的にきついときがある。
高校3年 女性	相談できるところがほしい。
高校3年 女性	身体ケアばかりに目が行ってる気がしますが、私はいままでからずっと精神ケアをしています。自殺を考える子もいるほど辛いです。毎日朝から夜まで人間関係の相談をきくところを想像して下さい！！。
小学5年 男性	障害者の人が不満を持たないようにして行く。
小学5年 男性	皆で介護すべき。
小学5年 男性	犬の散歩、餌やりがかなりきつくて体が疲れるが遊ぶのは楽しい。
小学5年 男性	積極的に話、交流を深める。
小学5年 男性	自然にやる気持、意識、助け合い。
小学5年 男性	大切な人と思って優しくする。
小学5年 男性	もしそういうヤングケアラーをやらなければならない時は学校などでこういう人がいるから助けてあげましょうかなど配る。
小学5年 男性	大人が手伝う。
小学5年 男性	ヤングケアラーが大事という事をもっと広めれば良いと思う。
小学5年 男性	相手の気持ちを考えること。
小学5年 男性	支援を広げるためには毎日子供など一時間くらいケアした方がいいと思う。
小学5年 男性	子供がケアをしていて、このアンケートでつらいと答えていたら、親に伝えたらいいと思う。
小学5年 男性	ヤングケアラーは世界にとって大切なことだからみんなに知ってもらおう。
小学5年 男性	みんなに呼びかける。
小学5年 男性	週に1～2回ヤングケアラーの専門の人に協力してほしい。
小学5年 男性	募金。
小学5年 男性	セントケアの人を増やして欲しい。
小学5年 男性	支援をする人が必要。
小学5年 女性	子供ばかりでなく姉や兄などがやる。
小学5年 女性	助ける。

小学5年 女性	誰もが快くケアできるようになればいいと思う。
小学5年 女性	母がもう少し年を取ったら母の介護につきたいです。
小学5年 女性	家族を大切にする。
小学5年 女性	介護者と協力しヤングケアラーの子供の時間を増やす取り組みが必要。
小学5年 女性	自分に出来る事は色々する。
小学5年 女性	もっと家族が協力する。
小学5年 女性	皆に知らせる事。
小学5年 女性	役割分担をする。
小学5年 女性	大変な思いをしている人もいるかもしれないので積極的にアンケートを行うと良いと思う。
小学5年 女性	初めてヤングケアラーの事を知り大変だなと思った、やっている人はすごいなと思った。
小学5年 女性	12/3~9までの障害者週間をもう少しアピールすると良い。
小学5年 女性	障害者皆に平等な福祉支援が欲しい。
小学5年 不明	学校でヤングケアラーについて専門の人に教えてもらう。
小学5年 不明	ヤングケアラーの友達と気持ちが楽になるように楽しく過ごしてあげる。
小学6年 男性	家の手伝いをすると家族に褒められるのがうれしい。
小学6年 男性	同情して欲しい。
小学6年 男性	疲れていないのでもう少し家事を増やしたいです。
小学6年 女性	大変な人もいるだろうが自分はきつさは感じていないからまだ楽な方だ。
小学6年 女性	家族だから当たり前に行っている。
小学6年 女性	自分の大切な家族だからその為に理解してあげたいと思った、支えたい。
小学6年 不明	親の愛情。
小学6年 不明	一人一人が助け合う事が大事だと思う、一人だけがお世話するだけでなく皆でする事が大事だと思いました。
小学6年 不明	自分たちも頑張る。
中学1年 男性	まず自分がこれはやった方がいいとか、これは誰かに頼むなど、自分で考えてやったほうが良いと思う。
中学1年 男性	自分の時間を使ってもやってあげることが大事。
中学1年 女性	家族である限り仕方ないことだと思っている。
中学2年 男性	無料でごはんくださーい。
中学2年 女性	祖母はあまりで歩くことができないしいつ倒れるか分からないので休日や親がいない時ほぼ家にいますが、ヘルパーさんなども来てくれるし見守ること（ケア）に対しやりがいを感じているのできつい等感じたことはないです。
中学2年 女性	私は、家族のケアをするのが好きです。
中学3年 男性	保育料金を安くする。我が家の場合家族の人数が多いので食費がひどいので支援してくれるとありがたい。
中学3年 男性	介護施設などで外国語の分かる人を導入してもらいたい（ラテン系言語など）。
中学3年 女性	ケアだけでなく認知症のお年寄りにひどいことを言われ、辛い人はいると思う。
高校1年 男性	つらさを多くの人に知ってもらい、周りから助けがほしい。

高校2年 男性	設問1でいないと書きましたが、別居している祖父に食事やふくをもっていっているので書きました。
高校2年 女性	年齢がはなれているため、なかなか話が続きにくいと感じることがある。心が通い合える関係になればいいなと感じました。
高校2年 女性	家族みんなで見守っています。
高校2年 女性	ヤングケアラーたちの仕事が高く評価されていることを知ってもらいたいです。
高校2年 女性	もっと県や市の支援がほしい。
高校3年 女性	家事をすることは大変だし、嫌になることもあるけど、やらなければ、何も変わらないから、がんばるしかない。
高校3年 女性	家の方針で家事や兄弟の世話は当たり前となっています。家を出て自立するまではずっとこの状態だと思います。
定時制4年女性	きついけど、支えていきたい。
通信制 女性	思うよりもたくさんの子どもの家族の世話をしていたり、誰にも言えなかったり、言いたくなかったりという子もいるだろうから、まわりの人がやさしく助けてあげたり、冷たい目を向けないことが大切だと思う。

回答者	こどもの声
小学5年 男性	不安な人への声掛け、このようなアンケートの実施。
小学5年 男性	家族全員で支える。
小学5年 男性	色々な人にアンケートをする。
小学5年 男性	家族時間を増やす。
小学5年 男性	健康に過ごす事。
小学5年 男性	優しさ。
小学5年 男性	少しでも休憩をとりつつお世話をしていけばいいと思う。
小学5年 男性	ケアしているとどんな気持ちになる。
小学5年 男性	もっと自分のしたい事をちゃんとやった方が良くと思う。
小学5年 男性	アンケートを取り心配事は連絡してもらおう。
小学5年 男性	子供がしっかり宿題を出来るようにする。
小学5年 男性	自分の休憩を取りながらやる。
小学5年 男性	障害で困っている人を助ける。
小学5年 男性	皆が協力する。
小学5年 男性	見守り助けて行く。
小学5年 女性	自分より年上をお世話している場合の支えが必要。
小学5年 女性	周りの人が助けてあげる事が必要。
小学5年 女性	誰かに相談する。
小学5年 女性	80歳を超えた家にお世話してくれる施設をおすすめする手紙を送る。
小学5年 女性	楽しくケアする。
小学5年 女性	自分がきつくなならない程度にする事。
小学5年 女性	ヤングケアラーという言葉を知った。
小学5年 女性	もっと家の事をやる。
小学5年 女性	先生に大変だったら言ってみる。
小学5年 女性	中学生などがお年寄りの世話をするようなことをした方が良く。
小学5年 女性	もっと他の人を支援した方がいいと思う。
小学5年 女性	思いやり。
小学5年 女性	やさしさ。
小学5年 女性	1人で頑張らず誰かに頼る、相談する。
小学5年 女性	大人が交代でやる。
小学5年 女性	親戚、知り合いに手伝ってもらおう。
小学5年 女性	人を大切にする気持ちや優しくする気持ち。
小学5年 女性	みんなに気を使ってあげる。
小学5年 女性	休むことや時間を決めて行う。

小学5年 女性	ヤングケアラーの人を見つけ支援する。
小学5年 女性	自分からやる。
小学5年 女性	周りの人が支える。
小学5年 女性	これからはもっとお世話をする。
小学5年 女性	家族の為になる事をやれば良い。
小学5年 女性	自分がきつと思う人や大変で困っている人がいると大変だからそういう人を無くしていきたい。
小学5年 女性	協力、助け合い。
小学5年 女性	ヤングケアラーのことを考える。
小学5年 女性	お年寄りの世話をする。
小学5年 女性	自分の出来る事はやる。
小学5年 女性	もっとアンケートを取る。
小学5年 女性	家族と協力する。
小学5年 女性	自分に出来る事は積極的にやる。
小学5年 女性	皆で助け合う事。
小学5年 女性	1人1人が障害を持っている人の気持ちを理解すれば助けたいという気持ちが強くなると思う。
小学5年 女性	困っている人への思いが必要。
小学5年 女性	自分を大切にしながらケアする。
小学6年 男性	手伝ってあげる。
小学6年 男性	相手の事を思う事が大事。
小学6年 男性	皆で協力する。
小学6年 男性	ユニバーサルデザインを増やす。
小学6年 男性	人々にヤングケアラーを広めて欲しい。
小学6年 男性	人の役に立つヤングケアラーはいいと思う。
小学6年 男性	家事を我慢してやること。
小学6年 男性	欠かさずにケアする。
小学6年 男性	いい意味のケアが必要。
小学6年 男性	本当に大変だったら担任に言う。
小学6年 男性	大変でもヤングケアラーはすごく必要だと思う。
小学6年 男性	応援する。
小学6年 男性	お年寄りや困っている人を見たら助ける事が大切。
小学6年 男性	助け合いが必要。
小学6年 男性	一人一人が進んで行動する。
小学6年 男性	みんなだって辛い気持ちになるけど、辛い気持ちを無くすとうれしい気持ちになる。
小学6年 男性	ヤングケアラーの良さを伝える。
小学6年 男性	話し合える友達をつくる。

小学6年 男性	家族で係りを決める。
小学6年 男性	家族や他の人を守るようにして行く。
小学6年 男性	たくさん呼びかけをする。
小学6年 男性	外に大変そうな人がいたら助ける。
小学6年 男性	ヤングケアラーは大切だと思った。
小学6年 男性	皆に優しくする。
小学6年 男性	時間に余裕を持つ事。
小学6年 男性	家族に感謝する。
小学6年 男性	親もしっかりする。
小学6年 男性	子供を大切に育てる。
小学6年 男性	時間を作ってあげる。
小学6年 男性	家族と仲良くすれば家族をケアしたいと思います。
小学6年 女性	まずは障害者の気持ちをわかってあげる、呼びかける。
小学6年 女性	どんな事でも嫌いにならず続ける事が必要。
小学6年 女性	他に困っている人がいたら助ける事。
小学6年 女性	出来るだけ人に相談する、直接親やケア相手に言う。
小学6年 女性	差別をなくして欲しい。
小学6年 女性	やはり人と人は支えあわなければいけないと思う、普通に拘らずどんな人がいても受け入れてあげる事が大事。
小学6年 女性	自分から相手に進んでこうの方がいいよと云う事が大事。
小学6年 女性	もっと障害者を自由にさせてあげたい。
小学6年 女性	誰かに手助けしてもらおう。
小学6年 女性	寄り添ってあげる。
小学6年 女性	自分のことを最優先する。自分のことを心配する。
小学6年 女性	声かけをする。
小学6年 女性	相手を思う。
小学6年 女性	みんなが仲良くケアしあえるようにしたい。
小学6年 女性	相談する。
小学6年 女性	相手も自分もきつくないケアをする。
小学6年 女性	近くの人が世話とかを知ってくれてたら安心する。
小学6年 女性	気配り、優しくしてほしい。
小学6年 女性	このアンケートを何回かやった方が良い。
小学6年 女性	みんな支えあっていく。こういう場で伝えられるよう設問をこれから続けて行くようにする。
小学6年 女性	自分の時間も作りケアもやる。
小学6年 女性	記入した事はただのお手伝いかもしれません。
小学6年 女性	Q7に対して→小さい子はかわいいから大丈夫。

小学6年 女性	皆にヤングケアラーを知ってもらおう。
小学6年 女性	自分ができる事をやる。
小学6年 女性	一人一つは必ずケアする事を心掛ける、意識する。
小学6年 女性	ヤングケアラーをもっと知る事が大切。
小学6年 女性	周りに理解してもらおう。
小学6年 女性	家族でお互いに支え合う。
小学6年 女性	皆が自分の事は出来るようにする。
小学6年 女性	人と人を大切にしていく。
小学6年 女性	周りの人をもっと頼る。
小学6年 不明	少しでもヤングケアラーが少なくなるようにやる人が増えれば良いと思う。
中学1年 男性	特にない。
中学1年 男性	心の広さ。
中学1年 男性	優しさ。
中学1年 男性	これを日本だけではなく世界に広めていければいいと思う。
中学1年 男性	ヤングケアラーをヤングケアラーを半年に一回行った方がよい。
中学1年 男性	普通にやろう。
中学1年 男性	Mag aral ng mabuti.。(よく勉強する)
中学1年 男性	手伝いのこと。
中学1年 男性	自分からせっきよく的にやる。
中学1年 男性	もう少し年寄りの暮らしやすいように家を作る。
中学1年 男性	ペットを選択肢に入れること。
中学1年 男性	親を一番に考えたほうがいい。
中学1年 男性	自分の家族を支える。
中学1年 男性	子どもだけでなく、大人の力をかりること。
中学1年 男性	ふだんからやっていくこと。
中学1年 男性	家事をやりたい。
中学1年 男性	自分たちに余裕がある人に支援してもらおう。
中学1年 男性	ヤングケアラーの言葉を初めて知りました。
中学1年 男性	大変な事など相談できるようにしてあげる。
中学1年 男性	ヤングケアラーの人の気持ちを理解する。
中学1年 男性	自分はその人の事を大切にすること。
中学1年 男性	仕方ない。
中学1年 男性	時間が空いてるときに支援する。
中学1年 男性	若い人たちに赤ちゃんや老人などのケアをしていくこと。
中学1年 男性	気遣う気持ち。

中学1年 男性	時間が足りない感じ。
中学1年 男性	なかなか自分から相談をしに行ったりすることが恥ずかしかったり、勇気がなかったりして、言えない人がいると思うので、そこら辺は対策が必要だと思います。
中学1年 男性	子供がやれるところまでを考えるとということ。
中学1年 男性	毎日世話をする。
中学1年 男性	差別しないでみんなが楽しくいられるようにみんな一人一人がヤングケアラーに協力すると、障害の方も気軽にいられると思います。
中学1年 男性	親切な気持ちを持つ人。
中学1年 男性	ヤングケアラーの子が教育を受けられるようにしてほしい。ヤングケアラーの子の家に介護福祉の人がお世話に行く。定期的に施設に通わせ、なるべく普通の生活が送れるようにする。
中学1年 男性	これからも家事をする。
中学1年 男性	学年の生徒たちが、自分から手伝いできるようにする。
中学1年 男性	自分ができそうな物からやっていくこと。
中学1年 男性	やさしさ。
中学1年 男性	自分とも向き合ってケアをする。
中学1年 男性	精神を鍛える。
中学1年 男性	車いすの人々に介護をする。
中学1年 男性	アンケートをなるべくとるようにする。
中学1年 男性	週に1～2日ではなく毎日やるのがお世話だなあと思いました。
中学1年 男性	おじいちゃんは高齢者であり、長生きしてほしいので、手伝いをしています。手伝いに不満を持たないことが大事と思っています。
中学1年 男性	人によっても生まれ方や生き方は様々であるからそれを周りの人がバカにしたりする事が必要でないと思う一人一人認め合って助けていく。
中学1年 男性	頑張ってます。
中学1年 男性	気持ち。
中学1年 男性	ヤングケアラーへの支援をひろげるためたくさんのケアをする。
中学1年 男性	ケアするにあたって面倒臭がらずにしっかりやってあげることが必要だと思う。
中学1年 男性	一人一人が人を思いやる気持ちを持つことが大切だと思う。ヤングケアラーが何かを家族の人や身近な人に伝える。
中学1年 男性	子供と親の距離を縮めることが大切だと思う。
中学1年 男性	ケアというより、知的障害者の遊び相手になっている。
中学1年 男性	人を大切にすること。
中学1年 男性	地域の人同士で助け合っていく。
中学1年 男性	楽しんでもらうこと。
中学1年 男性	設問5 学校から帰ってからずっとやっている。
中学1年 男性	祖母は違う家に住んでいて、行ったときに一緒に話とかをしています。自分は全然嫌でないから大丈夫です。祖母も困っていない。
中学1年 男性	みんな人には言いにくいからこのアンケートはいいと思う。
中学1年 男性	一人一人がその人を手伝う。

中学1年 女性	みんなで協力し合って支えること。
中学1年 女性	誰にでも優しくする。
中学1年 女性	思いやり。
中学1年 女性	支える人たちが必要。
中学1年 女性	少しでも時間をとれるようになりたい。ヤングケアラーで困っている人を助けたい。
中学1年 女性	子供の時間や気持ちを考えて欲しい。
中学1年 女性	自分の生活にかんけいするから自分ができることとかを家族や友達とかにいいことや協力するのが大切だと思います。
中学1年 女性	今は特になにかがひつようということはありません。
中学1年 女性	大切にする。
中学1年 女性	助け合いが大切。
中学1年 女性	親への仕事やプライベートでの悩みを聞いてほしい。
中学1年 女性	みんな助け合い。
中学1年 女性	1人1人、協力していくのが必要だと思いました。
中学1年 女性	ヤングケアラーをしている人達はすごいと思いました。無理はしてほしくないです。
中学1年 女性	見守り係。
中学1年 女性	呼びかけ等を行っていく。
中学1年 女性	学校の先生に相談したり、病院の先生などと話し合ったりすることが必要だと思う。
中学1年 女性	ケアをしてくれる人がいるならばケアをしてくれる人も笑顔になるし自分も喜ぶから。
中学1年 女性	自分の事も考えつつ相手に優しくする。
中学1年 女性	いろいろな人や近所の人に挨拶や接してあげること。
中学1年 女性	子供だけでなく大人も大変なので、それを分かってあげてほしい。
中学1年 女性	なし。
中学1年 女性	その人に協力したりボランティアなどで助けたりする。
中学1年 女性	親が大変だと思うことを手伝う。
中学1年 女性	自分の時間もとる。
中学1年 女性	設問2.3.4.5→月一ぐらいで部屋の掃除、年2.3ぐらいで家の掃除(30分)母や父が体調を崩した時の食事の準備(20分)週2~5ぐらいで洗濯(10分)。
中学1年 女性	「いない」を選択した人でも当てはまりそうな特別(家族に病気を持っている人がいるなど)なものではない質問も入っているので、全員質問は全部見るように促す文章が必要だと思う。
中学1年 女性	ヤングケアラーの人達をかわいそうなんて思わないでほしいし、その人を周りが傷つけないでほしいと思う。
中学1年 女性	祖父母を見守るためのこと。
中学1年 女性	みのまわりの人にたすけてもらう。
中学1年 女性	ヤングケアラーの支援を広げていくために、定期的にこういうアンケートをしていくことが必要だと思う。
中学1年 女性	家族の手つだいみたいなかんじでやっています。
中学1年 女性	自分で「誰かのために働きたいお世話したい」と思う心が大切だと思う。常に、人のことを思いやっていたら自然に広がっていくと思う。

中学1年 女性	周りにそういう人がいてもみんなが受け入れてあげることが大事だと思った。
中学1年 女性	大人が対応する。
中学1年 女性	一人一人が積極的に活動に取り組む。
中学1年 女性	どうしたらいいのか考えるというのが必要だと思った。
中学1年 女性	このようなアンケートをやっていく。
中学1年 女性	子供たちの時間をしっかり作らせる。頼みごとをしてもいいけど頼みすぎない。
中学1年 女性	これはケアされている側の人のアンケートですか。
中学1年 女性	「困っていきそうな人がいたら声掛けやなかよくしてあげる。」ということも言った方がいいと思う。
中学1年 女性	コミュニケーションを取った方がいいと思う。
中学1年 女性	祖父はもうお年寄りなので大変だけど、その大変さを他の人にも感じてもらう。
中学1年 女性	ケアをするにあたりケアで困ったらみんなで助け合うことが重要だから誰にでも優しい心で接することが必要。
中学1年 女性	母親がたまにいない時洗濯ものとか送迎。
中学1年 女性	精神的にキツくても協力してお世話をする。
中学1年 女性	ヤングケアラーで困っている人たちが楽になって、自分の好きな時間をつくりあげてほしいです。
中学1年 女性	困っている家族の世話をするのはいいと思いますが、他の人とも協力してやった方がいいと思いました。
中学1年 女性	学校に行けなくても、いけない人たちがいるのなら、それは、その子の未来がかわいそうです。だから、親として、子どもも、まもらなければ、親は失格だと思います。
中学1年 女性	自分の為だと思ってケアをして将来につながるようなことを体験しておきたい。
中学1年 女性	自分ができることは自分でなるべくやる。
中学1年 女性	支援する時には相手の事を考えて行動したほうがいい。
中学1年 不明	お手伝いの時間を増やしたい。
中学1年 不明	なにを線引きとして「ケア」なのか。
中学1年 不明	親が頑張る。
中学1年 不明	家の事情を理解しあまり踏み込まない・質問しないなどの気遣いが必要だと思います。
中学1年 不明	うつ病患者の理解を深めること。
中学1年 不明	自分と相手の事を大切にすること。
中学1年 不明	助ける。
中学1年 不明	親がちゃんとする。
中学2年 男性	大丈夫です。
中学2年 男性	小1から対象にするべきだと思った。
中学2年 男性	家族を大切にすること。
中学2年 男性	家族が支え合うの当たり前。
中学2年 男性	せんのうを市民にする。
中学2年 男性	親がストレスをためないで済む職場づくり。
中学2年 男性	ケアをしてはいるがけっこうたのしいので、もんだいはないです。

中学2年 男性	とくになし。
中学2年 男性	設問7で8人の家族なので洗濯物が多かったたむときに時間がない時でもやらされるときがある。(普段は自分でやると言っている。)
中学2年 男性	ヤングケアラーに適したものが必要だと思う。
中学2年 男性	障害児をまじまじと見たり、見て笑ったりしない。エレベーターなどを優先してあげる。車いす車でないのに車いす専用に乗めないなど。
中学2年 男性	年少の妹が可愛い。
中学2年 男性	自分も、その時間を楽しむ。
中学2年 男性	実際に現場へ行ったらどうでしょう。
中学2年 男性	子供に無理にケアを行わせないようにすること。
中学2年 男性	ケアするのはいいことだけど、そのせいで自分のことができなくなってしまうのは、よくないと思う。
中学2年 男性	みんなで助け合う。
中学2年 男性	身の周りの近所とか親に対して気遣うことが必要だと思う。
中学2年 男性	心のケアをしてくれる人物が身の回りにいる。
中学2年 男性	自分のやってきたことを誰かに教え良いことだと教える。
中学2年 男性	先生や他の大人の人との信頼関係を築く。
中学2年 男性	僕たちも協力したいです。
中学2年 男性	ヤングケアラーの方は無理しないでください。
中学2年 男性	大人だけでなく自分もできることをやっていけばいいと思う。
中学2年 男性	日常から少しでも人の助けになることをする。
中学2年 男性	手伝いも一応書きました。
中学2年 男性	一人一人が家族を支えていくそんざいになってほしい。
中学2年 男性	ケア(世話)と面倒を見るの違いは。
中学2年 男性	きついと思うな、楽しむ。
中学2年 男性	障害者を差別しない同じ人間だから。
中学2年 男性	自分から困っている人を助ける。差別をしない。
中学2年 男性	日本人に外国人への理解をしてほしい。
中学2年 男性	ゲーム時間。
中学2年 男性	通りかかる人に聞いてみる。
中学2年 男性	これからは少し多めにケアしたいです。
中学2年 男性	いろんな人が気付いて協力してあげる。
中学2年 男性	そもそも子供にも家事をやらせないとダメではないですか?将来一人暮らしなどをした時にも使える技術ですし、家のことをして時間がないのは全然いいことだと思う。
中学2年 男性	とにかく大人が役に立ってほしい。子供は休ませよう。
中学2年 男性	知らない人でも、困っている人がいたら助ける。
中学2年 男性	ケアが忙しくても、学校に行くことで楽しいと感じられる。
中学2年 男性	ボランティアで介護施設などに行く(授業などで)。

中学2年 男性	家具の安全性を高めてほしい。
中学2年 男性	子供に夢をかなえさせる教育をしてほしい。
中学2年 女性	思春期の人にはあまりよくないと思う。
中学2年 女性	当たり前からやる。
中学2年 女性	兄弟姉妹が兄姉や父母を少しでもおもいやってられるように少しでも家のことを手伝おうという習慣をつけてほしい。
中学2年 女性	家族全員でやっているのだから負担はありません。
中学2年 女性	文だけでなく色や絵が必要な気がする。
中学2年 女性	小さな子には要らなくなったおもちゃなどを寄付する。
中学2年 女性	困っている人や悩んでいる人がいたら、話し相手になる。
中学2年 女性	自分のことは自分で決めたい。
中学2年 女性	ヤングケアラーを知っている人が少なく、自分がヤングケアラーだと知っている子供が少ないから、相談をたまにしてあげる。
中学2年 女性	ボランティアにせっつきよ的にさんかする。
中学2年 女性	周りの人がヤングケアラーの大変さ辛さなどを分かってあげる。話を聞いてあげる。一人でかかえこまない。
中学2年 女性	父と母が仕事のため、家事などをやっている。
中学2年 女性	家族のためにできることを少しでもやっていきたい。
中学2年 女性	本当に大変な子もいると思うのでこのような実態調査はしていくべきだと思う。
中学2年 女性	友達などが遊びにさそうなどして気を休める時間をつくる必要がある。
中学2年 女性	「ヤングケアラー」という言葉を知らなかったのだから知れて良かったです。私は好きでお世話をしているけれど、むりにやらされている人がいたらとてもかわいそうだと思います。
中学2年 女性	広い心を持って接すること。
中学2年 女性	アンケートを年に何回か行う。
中学2年 女性	大人が担うとは。
中学2年 女性	自分に余裕があるなら助ける心が必要だと思う。
中学2年 女性	何人かでやること。
中学2年 女性	未成年者にもう少し優しくしてほしい。考えが古い。
中学2年 女性	ひつようだとおもう！。
中学2年 女性	犬の散歩は寒い。
中学2年 女性	もっと増えるといいなと思う。
中学2年 女性	子供に自由な時間を与える。笑顔を増やすような活動をする。
中学2年 女性	楽しく生活してほしい。
中学2年 女性	いろいろな人に助けを求めればよいと思う。
中学2年 女性	理解。
中学2年 女性	設問6-1は毎日ではない。
中学2年 女性	頑張っで減らす。

中学2年 女性	今の生活を当たり前だとは思わず、ヤングケアラーもいるのだと他人事に考えないことが必要だと思う。今の現状をしっかりと知り、ヤングケアラーの人数が減るようにしてほしい。
中学2年 女性	どんな企業でも、英語の通訳者が居ればよいと思う。お手伝いさんを、もっと簡単に雇うことができれば、良いと思う。
中学2年 女性	積極的に色々なことをやってあげればたくさんの方が安全に過ごせると思う。
中学2年 女性	一人一人が思いやりのある行動をする。少しでもいいから人の話し相手になるなどの自分にできることをしていく。
中学2年 女性	人種ってなんですか。
中学2年 女性	宿題を手伝っている。
中学2年 女性	1人で抱え込んでしまい精神的にきつくなってしまいう人が多いと思うので、悩みごとを聞くことが良いと思う。
中学2年 女性	学生用のカウンセラーだけでなく大人（親）向けのカウンセラーがあってもいいと思います。
中学2年 女性	いやがらないで介助したりお世話する。
中学2年 女性	家族で支えるだけでなく、近所でも支え合うことが必要だと思う。
中学2年 女性	もっと子供が障害者の人の為にやれることをすべきだ。障害者だけで差別する奴から守れ。
中学2年 女性	もし時間に余裕があるのなら、家族の1人のためでもいいから助ける（手伝う）。
中学2年 女性	妹とお風呂に入っています。楽しいので苦だとはおもいません。
中学2年 女性	祖父祖母には小さい頃、たくさんお世話になっていたのでキツさとかは感じません。
中学2年 不明	子どもの自由。
中学2年 不明	1人1人の時間も大切にしたいと思う。
中学2年 不明	思いやり。
中学2年 不明	もっとケアをした方がいい。
中学3年 男性	祖母を老人ホームに入れたい。
中学3年 男性	がんばる。
中学3年 男性	塾でいそがしい。
中学3年 男性	適した愚痴の聞き方をYouTubeで知り得た。
中学3年 男性	1人1人の意見を取り入れていった方がいいと思う。
中学3年 男性	親に。
中学3年 男性	一部のヤングケアラーからしたらよけいな世話である場合もあると思います。
中学3年 男性	悩んでいる人に相談してみる。
中学3年 男性	もっとアンケートや呼びかけをする。
中学3年 男性	自分の家族の中でケアが必要な人がいるなら必要なことだと思うが、精神的・時間的な面できつい部分もある。
中学3年 男性	自分でケアすることを積極的にやる。
中学3年 男性	親の問題（暴力や薬物）で困る子供たちへの支援が最優先だと思う。
中学3年 男性	両親がいない場合は兄や姉など大人でなくても弟や妹の世話をすべき。
中学3年 男性	支援する必要はないと思う。

中学3年 男性	自分は一般的にいるような弟の世話をまかせられている人なのでヤングケアラーになるかはわかりませんしとくにししようが出てるわけでもないのでお気になさらず。
中学3年 男性	自分は一緒に楽しんで生活を共にします。
中学3年 男性	その人の気持ちになってケアしていくこと。
中学3年 男性	ケアが権利を邪魔しても、それで助かる人がいることを忘れないように。
中学3年 男性	知らない。ヤングケアラーって何。
中学3年 男性	めげない。
中学3年 男性	紙の配布。
中学3年 男性	毎月の終わりにアンケートをとって、その月はどうだったのかのアンケートをとる。理由はアンケートの間隔が広いといじめの発覚が遅れるから。
中学3年 男性	家族以外にも気遣い。
中学3年 男性	人と話すのは楽しい。
中学3年 男性	1人が世話をするのではなく、1人1人全員が行うべきだと思った。
中学3年 男性	周りの人が困っていたら何でもいいから積極的に助けてあげる。
中学3年 男性	ヤングケアラーではないかもしれませんが一応書かせていただきました。
中学3年 男性	父親が不自由なため、いろんなことが不便になるので問題を解消できるような技術が広がってほしい。
中学3年 男性	今は施設に入所しているので特にキツさはないが、認知症の祖母がいるときは言うことが分からず、よくケンカになっていた。
中学3年 男性	ヤングケアラーのことをしっかりと周りの人が理解すること。
中学3年 女性	ヤングケアラーというよりも、障害を抱えた人たちをもっと身近に感じてほしい。みんないい人だから。
中学3年 女性	大人が複雑な家庭のことを理解してほしい。根本的な解決ができないなら、手を出してこないでほしい。話を聞くなんて時間の無駄。
中学3年 女性	一人で抱え込まない。
中学3年 女性	もし、実際に自分の家族がケアをしないといけない状態になったら、大変だから、そのためにケアとはどういうものか理解しておく必要があると思う。
中学3年 女性	みんな楽しくお世話できるようになってほしい。
中学3年 女性	これでぎゃくたいなども分かるようにしてほしい。そしたら少しでも困ってる子が助かると思うので。
中学3年 女性	姉妹とかだと姉に責任がかかることが多いため、そこを和らげる必要があると思う。
中学3年 女性	たくさんアンケートを実施すれば良い。要望＝ケアの頻度の回答欄をもっと増やしてほしい。
中学3年 女性	若い人でも何か出来る手助けをしたいです。なので何かありませんか。
中学3年 女性	周りにヤングケアラーの子がいたら人事だとは思わずにその子の事を気にかけてあげる。
中学3年 女性	自分以外のヤングケアラーの人と何かうまく協力したりして、話を共有したりして一人一人の負担をなるべく減らしていく。
中学3年 女性	責任能力のないと思われる人間に子供を産ませないでほしい。
中学3年 女性	若い人たちが高齢者のお世話をした方がいいと思う。
中学3年 女性	周りの人の理解がある。かわいそうと思わないで欲しい。
中学3年 女性	家族間でのコミュニケーションを増やす。
中学3年 女性	母子家庭なので家事を手伝ったりするが特につらい思いはしていない。

中学3年 女性	体を大切にする。
中学3年 女性	時間とかずくをおせわするといえのこともです。いろいろなこともやっています。
中学3年 女性	知らない人でも困っている人がいたら助けるべきだと思う。
中学3年 女性	相手の気持ちを理解する。
中学3年 女性	こういう機会を増やす。
中学3年 女性	親にお便りなどでプリントを配布すれば子供が言い辛くても言いやすい。
中学3年 女性	出来るだけ自力でやる。
中学3年 女性	母親、父親が苦しそうなときは、自分が進んで助けてあげることが大切で、とても必要な事だと思う。
中学3年 不明	親の大変さを感じたら手伝おうと思えるのではないかな。
中学不明男性	自分がまず行動すること。
高校1年 男性	ケアが苦しくても自分のことを第一優先に考えること。
高校1年 男性	ケアは、家族の一員として大切な行為だと思う。
高校1年 男性	自分からなんでもやれるようにする。
高校1年 男性	積極的に助けてあげる気持ちが大切。
高校1年 男性	ケアをするということを、しかたないからというより、自分がしないといけないと責任をもってすることが必要だと思います。
高校1年 男性	体調悪くなる事を禁止する方が良いと思う。
高校1年 男性	自分だけではなく、周りの人にも注意を向ける一やるべきことを見つける。
高校1年 男性	嘘をつかず、正直にこたえること。
高校1年 女性	周囲の理解が必要。
高校1年 女性	相手の要求をしっかりと聞いてあげる事。相手に伝わるように話すこと。
高校1年 女性	お世話とかでどんなことがこれから役に立つのかとかを多くの人に知ってもらい取り組みをしたらいいと思う。
高校1年 女性	妹（1歳）がかわいいからつらいと思ってないけれど、大変。
高校1年 女性	消費税を減らしてください。
高校1年 女性	小中学校にもアンケートをとる。
高校1年 女性	家族みんなでケアをすると負担が減って楽になると思う。
高校1年 女性	自分から支援する。
高校1年 女性	姉や兄が妹や弟の面倒を見るのは当たり前ではないと思う。
高校1年 女性	それぞれの家庭の事情を理解する。
高校1年 女性	一人が一人の人をケアするのではなく、数人が協力し合ってケアをしていくこと。
高校1年 女性	家族を助ける以外にも困っている人をたすけるということがひつようであり、自分には何が出来るのかを今一度考えて行動することが大切だと思う。
高校1年 女性	父がいつも助けてくれるので、私は基本そんなに疲れていません。
高校1年 女性	自分からかぞくの人をたすけたいきもちをつくひつようがいいと思います。
高校1年 女性	ヤングケアラーを生む原因が人だった場合、その人に対して何か対策を取ってほしい。
高校1年 女性	介護や園児のお世話などではないのでこれからも協力していきたい。

高校1年 女性	ケアが必要な人への理解。
高校1年 不明	介護でのお金の負担をもう少し減らしてほしい。
高校1年 不明	要相談。
高校2年 男性	自分でもできることは、積極的にやりたい。
高校2年 男性	家の手伝いは当たり前やることなので、今のところ大丈夫です。
高校2年 男性	手伝いとかをやりたいと思ったらどんどんやっていく。
高校2年 男性	病院の送り迎えを無料にしてほしい。
高校2年 男性	思いやり。
高校2年 男性	妹のめんどうを見るのは別にヤングケアラーだと思わないのでいれる必要ないと思う(八数や状況による。)
高校2年 男性	人生60年時代にしてほしい。
高校2年 男性	もっと理解を深めるのが大事だと思った。
高校2年 男性	家族全員で無理ないようローテーションを組む。
高校2年 男性	お世話は自分から行動したいときにすれば良いと思う。
高校2年 男性	自分は小さな兄弟のお世話をよくします。でも嫌だと思ったことはないし、むしろ楽しみながらやっています。他の人の中にもそういう事が好きでやっている人もいます。なので人のケアや世話をしている人達に本来やりたい事ができていないとかけんりが無いというのはすこしまちがっていると思うので、他の表現など使った方がいいと思います。
高校2年 男性	日本国に宗教の自由を。
高校2年 男性	家族での話し合いによる時間分け。
高校2年 男性	ただ家のことを手伝っているだけ。
高校2年 男性	土日に弟とあそんであげているていどです。
高校2年 女性	優しさ。
高校2年 女性	家族が仕事でつかれているから手伝いをするのはいいと思うから、逆に手伝うのうれしい。
高校2年 女性	身の周りに身体が不自由な人や病気を持っている人がいたら、まだまだ働ける私たちが力になるべきだと思う。
高校2年 女性	相手を認めるような心の優しい人が増えれば良いと思った。
高校2年 女性	心に余裕を持つこと。
高校2年 女性	その人の気持ちにもなってみる！。
高校2年 女性	時間記入のところを数分でもいいからかけるように別の枠などがほしい。
高校2年 女性	家族のことをちゃんと見る機会を家族内で設ける。
高校2年 女性	親の苦勞か何を毎日しているのか知る。
高校2年 女性	このようなアンケートを行うこと。ヤングケアラーの身近な人が気が付いてあげる事。
高校2年 女性	年よりの話を、ただ聞くだけでもいいから聞いてあげる人が必要だと思う。
高校2年 女性	周りの人の理解、支援。
高校3年 男性	子どものころから親が子どもに役わりをあたえる。
高校3年 男性	話し相手になること。

高校3年 男性	学生は愚痴が基本的に多いから、話すための能力が大切だと思う。
高校3年 男性	食事は自分のを作っている。
高校3年 男性	障がいを持った人にどう対応していくのか理解を持たせるために中高生のうちから教育をしていくことが必要だと感じる。
高校3年 男性	大変な人もいる。
高校3年 男性	このようなアンケートは困っている子供を助けることができると思うので良いと思う。
高校3年 男性	周囲の人の理解。
高校3年 男性	日々、家庭内の状態や身体の状態は変化していくので定期的にアンケートを行った方が良いと思う。
高校3年 男性	高校生までの人を優遇する。
高校3年 男性	改めてヤングケアラーの大変さが分かりました。
高校3年 男性	支え合って生活していくことが大事だと思った。
高校3年 男性	会話は大切。
高校3年 男性	単純に腰が痛いらしいので手伝ってます。
高校3年 男性	民生委員や町内会に人々による見回り。
高校3年 男性	もっと身近に感じてもらうべき。
高校3年 女性	ヤングケアラーに対してどのような支援があるのか知りたいです。
高校3年 女性	無理しない。他の家族にも頼る。
高校3年 女性	現状を知る。
高校3年 女性	頑張りすぎない。
高校3年 女性	周りと関係を持ち、お互い助け合えるようにする。
高校3年 女性	記入したからってどうにもならないと思ってます。国が終わっているのです。
高校3年 女性	いつかは誰もが経験することを今やれていることはありがたい。自分の将来の夢につなげることができる。
高校3年 女性	主に行っているのは両親であり、私は一日数回一時間いくかいかないです。
高校3年 女性	母は良い母です。
高校3年 女性	アンケートを定期的に行う。
高校3年 女性	今では言葉自体は浸透していますが、私自身も数年前までは全く知らず、自分が当人であることすらわかりませんでした。声をあげにくいことだからこそ、薬物依存や暴力、虐待などの授業で学べるようにしてほしいです。
高校3年 女性	周りを見ること。
高校3年 不明	ヤングケアラーがいるという確認をとることは難しく、またそれ以外の事情で支援が必要な人もたくさんいるから一人一人に支援することは難しい。他人が助けてあげる。
定時制4年男性	回りの人たちや親族が手伝いにいく。
定時制4年女性	誰かを支える事はとても大切。将来逆の立場なることもあると思うので支えられるときに支えるのが大切だと思う。
高校不明男性	ペットも家族。

令和3年度
静岡県ヤングケアラー実態調査結果
【別冊1】「自由記述」編
編集・発行：静岡県健康福祉部
こども家庭課
静岡市葵区追手町9番6号
TEL 054-221-2307
